

## 住まいと人と環境

プロフェッショナルからの提言

住まいと環境東北フォーラム編

ISBN978-4-7655-2576-3  
A5判・188頁 本体2300円＋税



安らぎのある住まいについて居住者と建設関係者とが一緒になって考えていくという目的で、1992年6月に発足した「住まいと環境東北フォーラム」。本書はその会報にて掲載された記事をまとめたもので、ヒートショック、シックハウスなどの対策、自然エネルギーを活用した省エネ住宅、光や熱の快適性など、健康で快適な住まいづくりのヒントとなる最新の情報を提供している。

## 健康に暮らすための住まいと住まい方エビデンス集

健康維持増進住宅研究委員会・健康維持増進住宅研究コンソーシアム編著

ISBN978-4-7655-2563-3  
A5判・206頁 本体2800円＋税



住宅の室内環境において、どのような要因が健康を阻害する可能性を持つのか、どの程度の環境レベルを維持すべきか、その根拠を科学的知見に基づいたエビデンスとして示す書。各エビデンスは独立した内容となっており、最初の頁の枠の中に健康影響に関する知見や設計・住まい方の指針について簡潔に示し、次頁以降に学術的な情報をつけて解説する。「適切な温熱環境とは」「快適な睡眠環境を実現するために」「清浄な空気環境の実現」「安全・安心な住まいを実現するために」の4つを主軸に健康に暮らすため住宅設計を示す。

## 心理と環境デザイン

感覚・知覚の実践

日本建築学会編

ISBN978-4-7655-2583-1  
B5判・206頁 本体3200円＋税



物理的刺激に対する生理心理反応を対象とした感覚・知覚心理研究については、音、光、熱、空気の個別の物理要素ごとに取り扱われることが多い。本書は、感覚・知覚心理研究分野における相互理解を深め、実務との接点を探り、先端的な研究成果を広く一般に知らしめることを意図した書。基礎編と応用編で構成されており、基礎編では心理的な評価尺度や被験者数などの研究の方法論のほか、物理要素と人間の生理心理反応との関係性を追求する理論的な知見を紹介している。また、応用編では社会的な要請でもある省エネルギーや、快適性とは異なる基準への対応など、現実場面に即した今日的な話題を紹介した。

## 高齢者が気持ちよく暮らすには

カギを握る温熱環境

日本建築学会編

ISBN4-7655-2487-6  
B6判・176頁 本体1800円＋税



高齢者の健康に室内外の温度や湿度は大きな影響を与えている。しかし、住宅の性能と冷暖房器具の使用方法はさまざまであり、それにより室内の環境は大きく変わってくる。本書は高齢者が居住する住宅や施設での温熱環境の実態をとらえ、改善方法や各種設備機器の情報などを提供する。一般の人たちはもちろん、福祉コーディネーターなど福祉施設や在宅介護支援にかかわる人たちの副読本に好適。

## シックハウス対策マニュアル

日本建築学会編

ISBN978-4-7655-2541-1  
B5判・244頁 本体3800円＋税



室内化学物質汚染とその対応策について、建築設計者、建築施工技術者、建築関連業者、行政担当者、研究者などの実務者の他、一般の居住者にもわかりやすくなるよう、具体策を示しながら解説した書。室内化学物質汚染の原因や最新の規制・基準はもちろんのこと、設計・施工段階や建物使用段階、適切な維持管理などにおける留意点について、最新の知見をもとにより踏み込んだ解説をした。

## シックハウス事典

最近マスコミ報道にもたびたび登場するシックハウス症候群についての一般向き概説書。症状の説明から始め、原因や予防法、症状が出たときの対処法、困ったときの相談先、家づくり・家選びやリフォームにあたっての注意点等々を、建築学、医学、化学など関連分野の専門家が、Q&A形式で簡潔に解説している（Q&A 99項目）。新築、購入、リフォームを考えている方や、実際にシックハウス症候群に悩まされている方々に、ぜひ一読いただきたい。



日本建築学会編

ISBN4-7655-2456-6  
A5判・220頁 本体2200円＋税

## 微生物・花粉による室内空気汚染とその対策

昨今建築業は、設計・建設から維持・管理、居住・住まい方にまで広がっており、それぞれの場面での課題が出てきている。微生物についても、医学的側面のみならず生活そのもの、あるいは建築的な面で関連が出てきており、その内容も急速に変化・改善がなされつつある。本書は、微生物粒子として室内で浮遊・落下・付着を辿る真菌と細菌を中心に、関連する規準濃度、測定法などをまとめ、そこから室内空気汚染防止設計や維持管理技術を、現場で推し進めるための基本を指し示す。

健康影響・測定法から建築と設備の設計・  
維持管理まで

日本建築学会編

ISBN978-4-7655-2532-9  
B5判・120頁 本体2800円＋税

## 健康建築学

21世紀の健康で快適な建築環境を実現する方法論について述べた書。20世紀の建築設備の発展は、建築空間を「基準」という尺度で画一化し、無菌化を推し進めることにより、病気や騒音、不快感を締め出す一方で、ストレスや感受性の低下、シックハウスといった人間の健康にかかわる新たな問題も生み出してきた。このような状況下、本書は住まい手、使い手である人間と、それを取り囲む建築環境システムを統合的に扱うことを目指し、健康科学と建築設備の観点から建築環境を論じる。

健康で快適な建築環境の実現に向けて



渡辺俊行・高口洋人ほか著

ISBN978-4-7655-2508-4  
A5判・198頁 本体2400円＋税

## 室内空気質環境設計法

シックビルやシックハウスが問題となっている近年、室内空気質を目的とするレベルに達成し、それを保つということは、環境を造る技術者にとって基本的な業務である。環境的な条件が出現されるためのメカニズムに基づき、自然条件、生活条件、社会的条件の要素を組み込んだエンジニアリングとしての設計が必要である。本書は、建築物室内環境で問題となっている主要な汚染物質について、改善のための設計を眼目において、ターゲット値、汚染の実態と機構、予測、発生量などをまとめた。



日本建築学会編

ISBN4-7655-2484-1  
B5判・172頁 本体3400円＋税